**『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』**

**第16号への投稿論文の書式について**

**１．用紙・書式**

＊テンプレートで設定されているように、本文と参考文献ともに以下の通りとする。（文字の大きさによっては、それ以上の文字数が入ることもありますが、書式は変更しないでください。テンプレートには行番号が設定されていますが、これも変更しないでください。）

用紙　　：B5判横書きワープロ原稿

余白　　：上下左右28mm

字詰め　：37字（字送り9.65pt）×31行（行送り18pt）

**２．タイトル、著者名、要旨、キーワード、所属（下線部は掲載後に記入）**

* 最初の行にタイトル（明朝、14pt、太字、中央寄せ）

副題がある場合は、ダッシュではさみ、12ptで普通字体で入れる（－副題－）。

1行あけて、和文著者名と所属（括弧内）（明朝、10pt、中央寄せ）

改行してメールアドレス　（Times New Roman、10pt、中央寄せ）

* 1行あけて、英文タイトル（Times New Roman，12pt、太字、中央寄せ）

副題がある場合は、11pt、普通字体で入れる。

1行あけずに、ローマ字表記著者名（Times New Roman、10pt、中央寄せ）

* １行あけて和文要旨、１行あけて英文要旨
* 1行あけて、キーワード（５語まで）をMS明朝・10pt、左寄せで入れる。本文と同じ言語のキーワードのみを記載。
* 見出し語の大文字・小文字使用についてはAPA (The American Psychological Association ) のPublication Manual 第6版に準拠すること。
* 著者名は、漢字表記の場合は姓名の間に半角スペース（山田 花子）、カタカナ表記の場合は、間にナカグロ（ジョン・スミス）とする。英語表記は、姓・名の順に並べ、姓は全て大文字、名は頭文字のみ大文字、名と姓の間はコンマなしで半角スペースを入れる（YAMADA Hanako　姓＋名　Times New Roman）こととする。
* 所属については、大学院生の場合は身分を明記する（◯◯大学大学院 博士課程）。
* 要旨は、和文、MS明朝、10pt、400字以内、英文、Times New Roman、10pt、200語以内で書く。

**３．見出し・本文**

フォント：MS明朝10pt（英数字はTimes New Roman 10pt）

節見出し：**１．**全角数字＋全角ピリオド＋見出し（太字）。

　　　　　１行あけて本文を書き始める。

　　　　　項見出しの前も１行あける。

項見出し：**1.1**　半角数字＋半角ピリオド＋半角数字＋半角スペース＋見出し（太字）。1行あけずに書き始める。

句読点 : 句点は「。」、読点は「、」。

カッコ ：（ ）「」『』ともに全角使用。ただし引用文献リストの ( ) は半角。

数　字 ：アラビア数字の場合、一桁は全角、二桁以上は半角とする。

注 　　：稿末注とし、本文の直後に入れる。フォントは9pt

 本文中は「上付き」を使用し、右肩に「数字+パーレン」1)2)で‥示す。

本文中の文献表示：

* 著者名・刊行年を本文で表示する場合

山田・田中（1990）、Dressler and Kamil（2006）、Bialystok, Shenfield and Codd（2000）

* 著者名・刊行年を本文カッコ内で表示する場合

（山田・田中, 1990）、（山田, 2000; 斉藤, 2002）、（Cummins, 1981, 1991）、（Dressler & Kamil, 2006）、（Bialystok, Shenfield ,& Codd, 2000）など

* 著者名・刊行年を本文カッコ内で表示し、ページ数も記載する場合

（山田・田中, 1990, p.5）など

**４．図表**

* 本文と図表のあいだは１行あける。
* 表のタイトルは表の上、図のタイトルは図の下に、行をあけずに表記する。
* 図表の注（p値など）は、図表の下に、行をあけずに表記する。
* 図表内には、9pt未満の文字は使用しない。
* 図表は白黒で印字されることを踏まえ、色による区別ではなく、網掛の種類などによって区別をつけること。

表1　タイトル（ 表の上、中央寄せ、ゴシック・Times New Roman、9pt）

|  |
| --- |
| ゴシック・Times New Roman 9pt以上9pt以上 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

注（表の下、左寄せ、MS明朝・Times New Roman、9pt）

　注（図の下、左寄せ、MS明朝・Times New Roman、9pt）

図1　タイトル（ 図の下、中央寄せ、ゴシック・Times New Roman、9pt）

**５．注**

* 半角数字1)2)…とし、２行目以降は原則全角１文字下げる。
* 和文MS明朝、英数字はTimes New Roman、フォントは9pt

**６．引用文献**

* 論文中に引用したもののみを挙げること。
* 日本語文献（50音順）の次に欧文文献（アルファベット順）で記載。
* 和文MS明朝、英数字はTimes New Roman、フォントは9pt
* 引用文献リストの ( ) は半角とする。
* 1点の文献情報が複数行に渡る際には２行目以降は原則半角５文字文字下げる。

＜日本語文献表記＞

* 著書の場合：著者名（1998）『著書名』出版社名

　　＊著者名は姓と名前の間にスペースは入れない。カッコは全て全角

* 学術誌掲載論文の場合：著者名（1998）「論文名」『学術誌名』巻数（号数）, ××-◯◯.

　　＊巻数のみ斜体とし、号数の後に半角コンマ、ページ数の後に半角ピリオド

* 著書掲載論文の場合：論文執筆者名（1998）「論文名」著者名『著書名』（pp.××-◯◯）出版社名

　　＊著書名の後のカッコ中に「pp.」を用いてページ数記載、最後にピリオドなし

　　　共著者の場合は、ナカグロ「・」で併記

＜欧文文献表記＞

APA (The American Psychological Association ) のPublication Manual 第6版に準拠することとする。参考として、Purdue大学のサイトを挙げる。

<https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/apa_style/apa_formatting_and_style_guide/general_format.html>

* 著書の場合：

Baker, C. (2011). *Foundations of bilingual education and bilingualism (5th ed.)*. Clevedon, UK: Multilingual Matters.

＊著者名（姓の後にコンマ、名イニシャル表記の後にピリオド）、年号（半角カッコの後にピリオド）、著書名（イタリック体表記の後にピリオド）、出版地（後ろにダブルコロン）出版社名（最後にピリオド）

* ジャーナル掲載論文の場合：

Creese, A., & Blackledge, A. (2010). Translanguaging in the bilingual classroom: A pedagogy for learning and teaching? *The Modern Language Journal, 94* (1), 103-115.

＊年号の後、論文名（後ろにピリオド）、ジャーナル名（*イタリック体表記）＋イタリック体コンマ＋イタリック体巻数＋* (号数)＋コンマ、ページ数（最後にピリオド）

* 著書掲載論文の場合：

Cummins, J. (2009). Fundamental psychological and sociological principles underlying educational success for linguistic minority students. In T. Skutnabb-Kangas, R.Phillipson, A.K. Mohanty, & M. Panda (Eds.), *Social justice through multilingual education* (pp. 19-35). Bristol, UK: Multilingual Matters.

Dressler, C., & Kamil, M.L. (2006). First-and second-language literacy. In D. August, & T. Shanahan, (Eds.), *Developing literacy in second language learners: Report of the national literacy panel on language-minority children and youth* (pp.197-238). Mahwah, NJ: Erlbaum.

＊ページ数は著書名の後に挿入し、（pp.◯◯–◯◯）．とする。その後に出版地、出版社名を表記。

* オンラインの論文でDOIがある場合：

Herbst-Damm, K. L., & Kulik, J.A. (2005). Volunteer support, marital status, and the survival times of terminally ill patients. *Health Psychology, 24*, 225-229. doi:10.1037/0278-6133.24.2.225

＊ページ数（後ろにピリオド）の後にDOIを記載。

* オンラインの論文でDOIがない場合：

Sillick, T. J., & Schutte, N. S. (2006). Emotional intelligence and self-esteem mediate between perceived early parental love and adult happiness. *E-Journal of Applied Psychology, 2(*2), 38-48. Retrieved from http://ojs.lib.swin.edu.au/index.php/ejap

＊ページ数（後ろにピリオド）の後に、Retrieved from http://www/xxxxx の形でURLを記載する。和文文献の場合は、 “Retrieved from” の代わりに、URLの後ろに「より取得」と記すこと。

**７．その他**

* 執筆者が特定されるような情報（謝辞、助成金情報等）は投稿時には記載しないこと。
* 研究倫理については、執筆者の所属機関の倫理規定を順守すること。